



七月 (大)

ふみづき

壁宿

七月七日小暑の節より
月命丁未六白金星の月
暗剣殺西北方

旧 六月大
七月小

日	曜日	干支	九星	行	事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	金	きのと	う 一白	行	全国安全週間、国民安全の日、社会を明るくする運動、富士山開き、銀行の日、旧六月大	三	友引	おさん	亢	母倉	4.29	19.01	5.54	20.51
2日	土	ひのえ	たつ 二黒	行	半夏生五時四七分、博多祇園山笠(1日〜15日)	四	先負	ひらく	氏	大ぶう	4.29	19.01	6.52	21.27
3日	日	ひのと	み 三碧	行	一粒万倍日	五	佛滅	とづ	房	十し	4.30	19.01	7.52	21.58
4日	月	つちのえ	ま 四緑	行	米国独立記念日、一粒万倍日、不成就日	六	大安	たつ	心	くゑ日	4.30	19.01	8.51	22.26
5日	火	つちのえ	ま 五黄	行	栄西禅師忌	七	赤口	のぞく	尾	神よし	4.31	19.01	9.51	22.52
6日	水	かえさる	六白	行	東京入谷朝顔市(8日迄)、庚申	八	先勝	みつ	箕	太ぶう	4.31	19.00	10.51	23.17
7日	木	かのと	七赤	行	小暑一時三十分、七夕、上弦一十一時一四分、成田不動尊祇園会、奈良吉野蛙とび、一粒万倍日	九	友引	みつ	斗	神よし	4.32	19.00	11.53	23.44
8日	金	みづのえ	ぬ 八白	行	東京浅草観音はおずき市、鵜外忌、八せん終り	十	先負	たい	牛	大くわ	4.32	19.00	12.58	—
9日	土	みづのえ	ぬ 九紫	行	東京浅草観音はおずき市、鵜外忌、八せん終り	十一	佛滅	さだん	女	ぢう日	4.33	19.00	14.06	0.13
10日	日	きのえ	ね 九紫	行	東京浅草観音四万六千日、九星陰通始め、甲子	十二	大安	とる	虚	天おん	4.33	18.59	15.18	0.46
11日	月	きのと	う 八白	行	草市、福島伊佐須美田植祭、大阪生国魂神社夏祭、不成就日	十三	赤口	やぶる	危	十し	4.34	18.59	16.33	1.26
12日	火	ひのえ	とら 七赤	行	草市、福島伊佐須美田植祭、大阪生国魂神社夏祭、不成就日	十四	先勝	あやぶ	室	天おん	4.35	18.58	17.46	2.16
13日	水	ひのと	う 六白	行	ぼん迎え火、東京靖国神社みたま祭	十五	友引	なる	壁	神よし	4.35	18.58	18.59	3.17
14日	木	つちのえ	たつ 五黄	行	○望三時三十分、熊野那智大社扇祭	十六	先負	おさん	奎	天おん	4.36	18.57	19.51	4.27

15日	金	つちのえ	四緑	ぼん、山形出羽三山花祭、佐原の大祭(17日迄)、小倉祇園太鼓17日迄、広島祇園神社管絃祭、己巳、国土交通デー、勤労青少年の日、初伏、大つち、三隣亡、一粒万倍日	十七	佛滅	ひらく	婁	くゑ日	4.36	18.57	20.38	5.44	—
16日	土	かえさる	三碧	京都八坂神社祇園祭、京都松尾大社御田祭、塩竈みなと祭、茅ヶ崎寒川神社浜降祭	十八	大安	とづ	胃	太ぶう	4.37	18.57	21.16	7.00	0.34
17日	日	かのと	二黒	土用一時四十分、下弦二三時一十九分、山口祇園祭(27日迄)、不成就日	十九	赤口	たつ	昂	神よし	4.38	18.56	21.48	8.13	0.34
18日	月	みづのえ	一白	土用一時四十分、下弦二三時一十九分、山口祇園祭(27日迄)、不成就日	二十	先勝	のぞく	畢	神よし	4.38	18.56	22.17	9.21	1.15
19日	火	みづのえ	九紫	一粒万倍日	廿一	友引	みつ	觜	神よし	4.39	18.55	22.43	10.26	1.57
20日	水	きのえ	ぬ 八白	土用一時四十分、下弦二三時一十九分、山口祇園祭(27日迄)、不成就日	廿二	先負	たい	参	月とく	4.40	18.55	23.10	11.29	2.41
21日	木	きのと	七赤	土用一時四十分、下弦二三時一十九分、山口祇園祭(27日迄)、不成就日	廿三	佛滅	さだん	井	ぢう日	4.40	18.54	23.37	12.30	3.31
22日	金	ひのえ	ね 六白	敦賀気比神宮総参祭、熊谷うちわ祭	廿四	大安	とる	鬼	きこ	4.41	18.53	24.06	13.31	4.33
23日	土	ひのと	五黄	大暑五時〇七分、土用の丑、宇和島和霊祭、相馬野馬追大祭(25日迄)	廿五	赤口	やぶる	柳	十し	4.42	18.53	24.31	14.31	5.49
24日	日	つちのえ	四緑	大蔵ぼん、河童忌、小つち、大田原大田山地蔵尊夏大祭	廿六	先勝	あやぶ	星	母倉	4.43	18.52	25.00	15.30	7.01
25日	月	つちのえ	三碧	大阪天満天神祭、徳島天神祭	廿七	友引	なる	張	夏事よし	4.43	18.52	25.25	16.27	8.01
26日	火	かえさる	二黒	中伏	廿八	先負	おさん	翼	天おん	4.44	18.51	26.00	17.21	8.51
27日	水	かのと	一白	神奈川大山阿夫利神社夏季大祭	廿九	佛滅	ひらく	軫	天おん	4.45	18.50	26.27	18.09	9.37
28日	木	みづのえ	九紫	三隣亡、一粒万倍日、不成就日	卅	大安	とづ	角	●	4.46	18.49	26.51	18.51	10.18
29日	金	みづのえ	八白	●朔二時五十分、宇佐神宮夏越大祭(31日迄)、旧七月小	朔	先勝	たつ	亢	天おん	4.46	18.48	27.18	19.28	10.57
30日	土	きのえ	七赤	大坂住吉祭(8月1日迄)、十方ぐれ入り、和歌山粉河祭(31日迄)	二	友引	のぞく	氏	神よし	4.47	18.47	27.43	20.00	11.34
31日	日	きのと	六白	京都愛宕千日詣り、若ノ湖湖水祭、堺大魚夜市、一粒万倍日、不成就日	三	先負	みつ	房	神よし	4.48	18.47	28.09	20.29	12.08

月をの初めにはまだ梅雨期が残っていることもあるが、本格的な夏型の天候、気候になろう。ただし最近是不順なことが多く、冷害や集中豪雨に見舞われることもある。

【冠】七月は「七夕」(たなばた)五節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では芸芸はもとより、書道、音楽、学習全般などになった。色紙や短冊などに願いを書いたり、紙の星形をつるして庭に飾る。近ごろでは町ぐるみ、都市ぐるみのお祭り行事になつてくることもある。とくに仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。

【葬】死者を送つて最初の盆を死者に「新盆」といい、戸外に葉つきの青竹を四隅に立て、上のほうをわら縄で結び、盆花(桔梗の別称)などをかけ、白張りの提灯をつるす本格的な行事を行うところもある。お盆は、孟蘭盆の略で昔から家単位の大らかな行事になつていいる。地方により多少祀り方は違つて、精霊棚を作りお位牌を安置し、野菜、果物、ソメメン、団子などを供えるのが普通である。仏壇に「薦(すすき)」を敷いて代用することもあり、きゅうりやナスで、牛、馬の形を作つて供えるところもある。十三日の夕刻、迎え火といつて麻幹(おがら)をたいて仏を迎え、十五日に僧侶に読経してもらい、十六日に送り火をたいて冥界(めいかい)に送る。お盆の供え物は川や海に流すのが普通で、小さな舟を作り、それに灯籠を載せて流す風習も各地に残っている。

【祭】中元の習慣は中国に発する。正月十五日を上元、七月十五日を中元、十月十五日を下元、合わせて三元とし、金品をささげて贖罪(しよくい)をする日といひ伝えられており、これがわが国で形が変わり、縁故者や目上、恩人に贈り物となつたのである。